

令和4年度
事業計画書

法 人 本 部
千 歳 敬 心 苑
池 袋 敬 心 苑
浦安市障がい者福祉センター
敬 心 ゆ め 保 育 園

社会福祉法人 敬心福祉会

令和4年度事業計画書

目 次

			頁
1	社会福祉法人敬心福社会 経営理念	・・・	1
2	第1部 法人本部	・・・	2
3	第2部 千歳敬心苑	・・・	8
4	第3部 池袋敬心苑	・・・	16
5	第4部 浦安市障がい者福祉センター	・・・	25
6	第5部 敬心ゆめ保育園	・・・	30

社会福祉法人敬心福社会 経営理念

わたくしたちは、少子高齢社会における地域福祉の拠点たる使命を自覚し、次に掲げる理念の基に永続的事業の経営に取り組みます

- 1 いつも敬う心で人権と尊厳を守り、利用者(おとしより・障がい者・児童) に接します
- 2 ひとりひとりの利用者にとって最もふさわしい生活を追求し、利用者と家族が満足するサービスの提供に努めます
- 3 法人・施設の持つ機能を活かし、地域社会への貢献に努めます
- 4 常に健全で活力ある経営と民間社会福祉事業としての先駆性・独自性に努めます
- 5 常に職員の資質の向上と待遇の改善を図り、いつも明るくさわやかに働く施設を目指します



第1部 法人本部

目次

		頁
1	法人の事業 ……	2
2	役員名簿・評議員名簿 ……	3
3	法人組織図 ……	4
4	法人の沿革 ……	5
5	令和4年度 理事会・評議員会等の開催 ……	6

1 法人の事業

社会福祉法人敬心福祉会は、学校法人敬心学園が母体となり、それまでの福祉教育の経験と成果を生かし平成8年2月15日に設立されました。

この法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行います。

(1) 第一種社会福祉事業

- ・特別養護老人ホームの経営
- ・障害者支援施設の経営

(2) 第二種社会福祉事業

- ・老人デイサービスセンターの経営
- ・老人短期入所事業の経営
- ・老人居宅介護等事業の経営
- ・障害福祉サービス事業の経営
- ・地域活動支援センターの経営
- ・特定相談支援事業の経営
- ・保育所の経営
- ・病児保育事業の経営
- ・一般相談支援事業の経営

(3) 公益を目的とする事業

- ・居宅介護支援事業
- ・地域包括支援センター事業
- ・障害者施設入浴サービス事業

(4) その他事業

- ・世田谷区高齢者住宅生活協力員業務の受託

2 役員名簿

定数 理事6～7名、監事3名(令和4年3月31日現在)

	役職名	氏名	就任月日(任期)	主な経歴
1	理事長	小林 光俊	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	学校法人敬心学園 理事長
2	理事	柳澤 均	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	常務理事
3	理事	佐藤 宏美	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	敬心ゆめ保育園 園長
4	理事	原田 佳明	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	永和総合事務所代表・税理士
5	理事	紅葉 真幸	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	日本児童教育専門学校 事務局次長
6	理事	肥田 淳	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	浦安市障がい者福祉センター センター一長
7	監事	齊藤 幸司	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	齊藤会計事務所所長・税理士
8	監事	村尾 俊明	令和3年年6月10日 ～令和5年6月	元日本社会福祉士会会長・現相談役

任期の終期は、令和5年度の定時評議員会の終結時(令和5年6月)

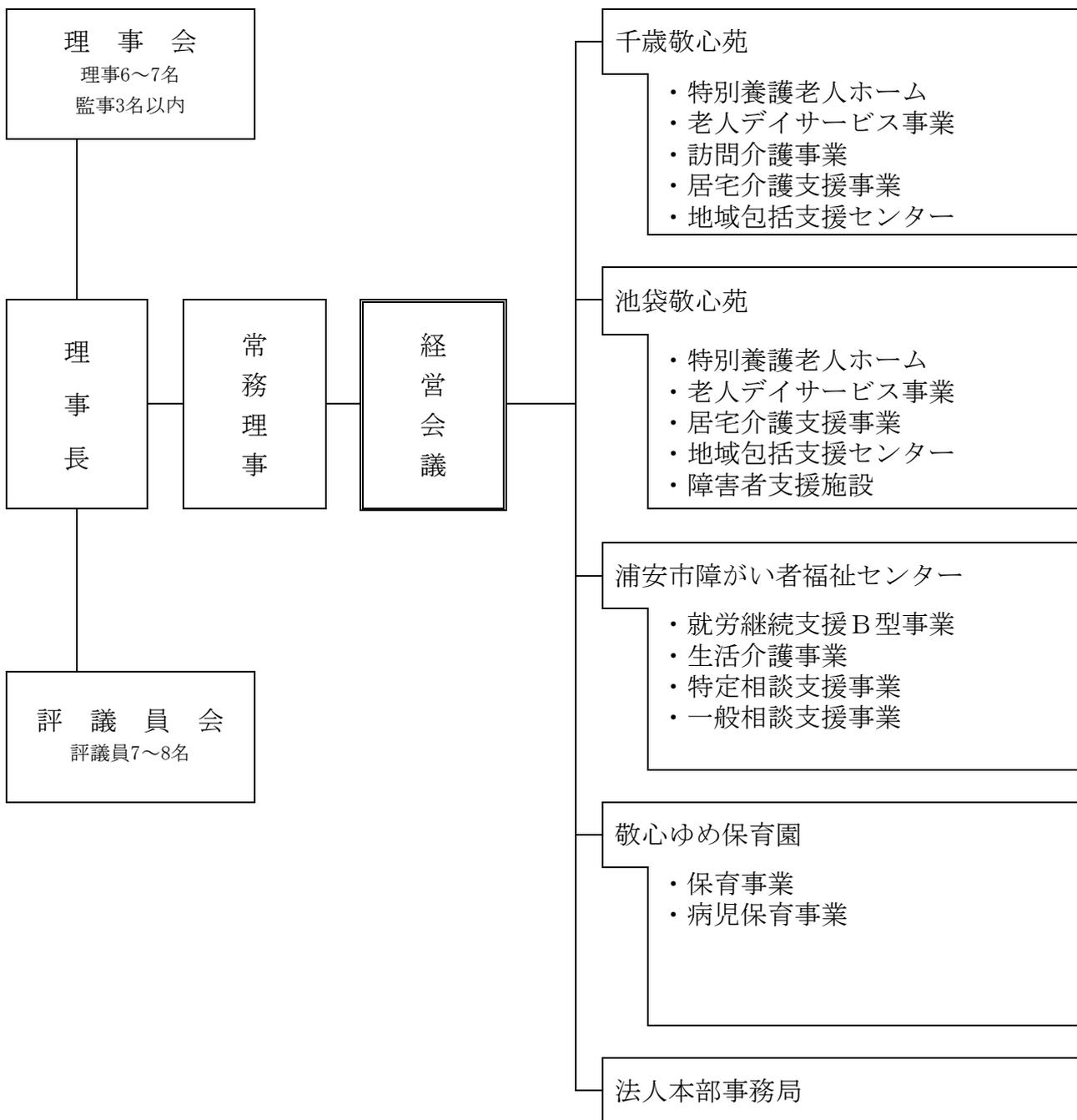
2-2 評議員名簿

定数7～8名(令4年3月31日現在)

	氏名	就任月日(任期)	主な経歴
1	内野 滋雄	令和3年6月10日 ～令和7年6月	(福)三徳会 理事長・医師
2	多久島 耕治	令和3年6月10日 ～令和7年6月	(福)都心会 理事長・弁護士
3	鈴木 武夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	元 東京都参事
4	穴戸 安夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	世田谷区給田町会 会長
5	蟻塚 昌克	令和3年6月10日 ～令和7年6月	立正大学社会福祉学部 教授
6	鈴木 恵子	令和3年6月10日 ～令和7年6月	民生委員・児童委員・保護司
7	児玉 裕司	令和3年6月10日 ～令和7年6月	日本陶芸倶楽部 理事長
8	魚津 亮太	令和3年6月10日 ～令和7年6月	(福)恩賜財団東京都同胞援護会 総務部長

任期の終期は、令和7年度の定時評議員会の終結時(令和7年6月)

3 社会福祉法人 敬心福社会 組織図



4 法人の沿革

平成	8	年	2	月	15	日	社会福祉法人 敬心福祉会 設立
平成	9	年	4	月	14	日	特別養護老人ホーム「千歳敬心苑」設置認可・開所
			6	月	1	日	老人短期入所事業「千歳敬心苑」開始
			7	月	1	日	老人デイサービスセンター「デイ・ホーム千歳」開所
平成	11	年	4	月	4	日	「給田在宅介護支援センター」開所
平成	12	年	10	月	1	日	「給田介護保険サービス」事業開始
平成	14	年	5	月	1	日	「給田ヘルパーステーション」開所
平成	15	年	11	月	1	日	「浦安市障がい者福祉センター」の運営受託
平成	17	年	4	月	1	日	特別養護老人ホーム「池袋敬心苑」設置認可・開所
							老人短期入所事業「池袋敬心苑」開始
							老人デイサービスセンター「デイホーム南池袋」開所
							「ふくろうの杜在宅介護支援センター」開所
							「ふくろうの杜介護保険サービス」事業開始
							身体障害者療護施設「雑司谷」開設
							身体障害者短期入所事業「雑司谷」開始
			10	月	1	日	「雑司谷デイサービスセンター」開所
平成	18	年	4	月	1	日	「烏山あんしんすこやかセンター」開所
							「ふくろうの杜地域包括支援センター」開所
							「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」開設
平成	20	年	7	月	1	日	「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」受託
平成	21	年	4	月	1	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業運営受託
平成	22	年	1	月	1	日	ふくろうの杜地域包括支援センターを
							「ふくろうの杜高齢者総合相談センター」に名称変更
平成	23	年	4	月	1	日	浦安市知的障がい者通所授産施設、浦安市知的障がい者通所更生施設及び浦安市福祉作業所を、就労移行支援、就労継続支援B型及び生活介護の各事業へ移行
平成	24	年	4	月	1	日	身体障害者療護施設「雑司谷」を、障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）へ移行
平成	25	年	3	月	31	日	「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」閉店
							「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」指定管理期間満了
平成	26	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 開園
平成	29	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 病児保育事業 開始
平成	31	年	3	月	31	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業 期間満了
令和	3	年	4	月	1	日	浦安市障がい者福祉センターの指定管理更新に伴い、「一般相談支援事業」開始

5 令和4年度 理事会・評議員会の開催

年 月 日	内 容
令和4年5月18日(水)	第1回 理事会 ・ 令和3年度事業報告について ・ 令和3年度決算について ・ 定時評議員会の開催について ・ 監事監査報告会の実施報告について
令和4年6月10日(金)	定時評議員会 ・ 令和3年度事業報告について ・ 令和3年度決算について ・ 社会福祉充実残額について
令和4年10月19日(水)	第2回 理事会 ・ 令和4年度上期事業運営について ・ 令和4年度補正予算について ・ 各種規程の改定について
令和5年3月17日(金)	第3回 理事会 ・ 令和4年度補正予算について ・ 令和5年度事業計画について ・ 令和5年度予算について ・ 規定・規則の改廃について ・ 重要人事について

※開催の年月・議案内容等に関しては変更することがある。

5-2 令和4年度 経営会議の開催

日付	曜日	名称	開始時刻	場所	備考
令和4年4月13日	(水)	第1回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年5月13日	(金)	第2回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年6月15日	(水)	第3回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年7月20日	(水)	第4回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年8月17日	(水)	第5回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年9月21日	(水)	第6回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年10月19日	(水)	第7回経営会議	15時30分	Hグランドヒル市ヶ谷	
令和4年11月16日	(水)	第8回経営会議	15時30分	学園本部	
令和4年12月14日	(水)	第9回経営会議	15時30分	学園本部	
令和5年1月18日	(水)	第10回経営会議	15時30分	学園本部	
令和5年2月15日	(水)	第11回経営会議	15時30分	学園本部	
令和5年3月17日	(金)	第12回経営会議	13時30分	Hグランドヒル市ヶ谷	

経営会議の参加メンバー(令和4年2月10日現在)

理事長 小林 光俊

常務理事 柳澤 均

理事 原田 佳明

敬心ゆめ保育園

浦安市障がい者福祉センター

千歳敬心苑

園長 佐藤 宏美

センター長 肥田 淳

施設長 山口 晃弘

池袋敬心苑

法人本部事務局

施設長 齋藤 隆弘

事務局長 中村 純

第2部
千歳敬心苑
(東京都世田谷区給田)

目次

		頁
1	はじめに	8
2	職員配置	9
3	特別養護老人ホーム千歳敬心苑	10
4	デイ・ホーム千歳	12
5	給田ヘルパーステーション	13
6	給田介護保険サービス	14
7	烏山あんしんすこやかセンター	15

1 はじめに

令和4年4月を迎えると、千歳敬心苑は開設25年になります。

この2年間は、新型コロナウイルスの影響により、常に感染症予防、対策に追われ、正直申し上げれば、ご利用者の生活、尊厳を守るというより、生命を守ることに必死でした。状況は刻一刻と変化し、振り落とされないように必死にしがみついていたような2年間でした。

そのような状況下で、ご利用者、ご家族の皆様には、どれほどのご心配をおかけしたことかと胸が痛みます。

職員たちには、職場においても私生活においても、「エッセンシャルワーカー」としての自覚と自粛を求めてきました。職員たちもよく我慢してくれたと思います。

今後どのように状況が変化していくのか分かりませんが、だからこそ、誠実に堅実に一步一步踏みしめながら、歩みを進めていきます。

25年を迎える千歳敬心苑は、以下4つのテーマを実践していきます。

①アメーバ経営

組織をアメーバと呼ぶ小集団に分けます。各アメーバのリーダーが中心となって計画を立て、メンバー全員が知恵を絞り、努力することで、アメーバの目標を達成していきます。現場の職員ひとりひとりが自主的に経営に参加する「全員参加型経営」を実現していきます。

②若い人材の確保

おかげさまで、職員たちが長く勤めてくれることで、管理職、リーダーが育っております。

しかし、職員の年齢層が年々高くなっており、次の世代の管理職、リーダーを担ってくれる人材が必要です。十代、二十代の若者が、介護・福祉の仕事に憧れを持ち、なりたい職業となってくれるよう努め、若い人材が働きたくなる環境をつくります。

③地域公益活動

コロナの影響により、2年間で後退してしまった地域公益活動についても大きな課題です。「コロナだからできない」ではなく、「コロナ禍で何ができるか」をこれまで以上に考えなければなりません。地域包括支援センターが把握した地域の福祉ニーズを千歳敬心苑全体として実践していかなければ、地域が衰退してしまいます。烏山地域を福祉の街にデザインします。

④人材育成室

人が育つ職場でなければ、アメーバ経営も、若い人材の確保も、地域公益活動も実現できません。今年度はこれまで以上に人材育成室の取り組みに力を入れ、システムチックでありながら、福祉職の心を育む育成システムを確立します。

このようなテーマを実現していくためにも、今年は特に発信に力を入れていきたい所存です。

25歳になる千歳敬心苑をこれからもどうぞよろしく願い申し上げます。

令和4年4月
千歳敬心苑 施設長 山口 晃 弘

2 職員配置

(令和3年4月1日現在)

職制区分		特養	通所	訪問	居宅介護	地域包括		合計
常 勤 職 員	施設長	1						1
	事務職	1	2					3
	介護支援専門員	1			5	9		15
	生活相談員	2	2					4
	看護職員	2	1			1		4
	介護職員	34	9	3				46
	機能訓練指導員	1						1
	管理栄養士	1						1
	計	43	14	3	5	10		75
非 常 勤 職 員	医師	3						3
	介護支援専門員				1	2		3
	看護職員	4	2					6
	介護職員	4	1	1				6
	機能訓練指導員		1					1
	運転手	1	5					6
	宿直	4						4
	登録ヘルパー			15				15
	介護補助員	1						1
計	17	9	16	1	2		45	

3 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員:80名 併設型短期入所生活介護 定員:12名)

(1) 特別養護老人ホーム

重点目標①

ご利用者のワクワクと職員のイキイキを大事にします。

具体的展開

(1) コロナ禍での運営は続きますが、感染症対策を徹底しながら、ご利用者のお誕生日、季節行事、レクリエーションなどを充実します。計画の段階からご利用者に参画していただき、当日までの時間もワクワクするような毎日を演出します。

(2) アメーバ経営の一環として、職員が所属するグループの中で個性を発揮し、やりがいと成長を感じられるマネジメントを行います。福祉用具の導入、活用により、身体的負担の軽減を図ります。職員が心身ともにイキイキと働ける環境づくりを目指します。

重点目標②

ご利用者一人ひとりのヒストリーと、自分らしく生きるストーリーを大事にします。

具体的展開

(1) ご入居の段階で、要介護度の高い方が多くなっていますが、その中でも、全面介護、集団的ケアにならず、ご利用者一人ひとりのこれまでの歴史や生活習慣、趣味、嗜好などのヒストリーを尊重したケアを行います。また、入居後も自分らしく生きる人生が続くよう、ココカラのストーリーを大事にします。

(2) 看取りケアでは、「死をタブーにしない」ことを意識し、これからの時間をどう生きたいか、どこに行きたいか、誰に会いたいか、最後はどこで迎えたいか、などをできる限り把握し、ご自身のストーリーを最期までご自分らしく生きていただく支援をします。

重点目標③

魅力ある介護、魅せる介護の発信をします。

具体的展開

(1) 年度末に3年ぶりとなる実践報告会を開催します。コロナ禍が続く場合は、オンライン開催とします。多くの人に見ていただくにふさわしい実践をし、質の高い介護+魅力ある介護を実現します。

(2) 併設型短期入所生活介護（稼働率目標:100%）

重点目標①

安全で快適な環境を整えると共に、滞在中の緊張や戸惑いのない生活が送れるよう整えていきます。

具体的展開

- (1) 家庭での生活のペースや環境を把握し、利用者本人の当たり前の生活を尊重しながら食事・排泄・入浴などの日々の生活が維持できるよう支援していきます。
- (2) 慣れない環境でも穏やかに過ごして頂けるよう配慮し、寄り添っていきます。
- (3) 怪我や事故に繋がらないよう、サービスの提供者同士で情報の共有を図っていきます。

重点目標②

コロナ禍でも継続したサービスの利用に繋がるよう利用者・家族の要望に耳を傾け、利用しやすいサービスになるよう心掛けていきます。

具体的展開

- (1) 入退所時の ADL に変わりがないよう、体調管理や筋力の維持を図り「食べる」「歩く」「笑顔で過ごす」等のサービスを提供していきます。
- (2) 在宅での生活の様子を知る手段として引き続き、入所時に書面で様子を伺い、退所時にも退所の手紙を発行していきます。書面での手続きを継続していく背景に、家族自身の時間を作る事にも繋がり、手続きの同席を負担に考えている声に配慮しています。

重点目標③

滞在中の生活に不満が無いよう努め、高い稼働率につなげていきます。

具体的展開

- (1) 季節感を感じられる雰囲気の中で過ごして頂き「来て良かった」「ここは良い所」と安心し、家族にもコミュニケーションを図る際の知識や介護技術の提供で「サービスを利用するなら」と選ばれるよう努め、その結果で再利用に繋げ稼働率の向上維持を図っていきます。
- (2) 区や他事業所からの緊急受け入れにも真摯に取り組み、高い介護力で信頼できるサービスに繋がるよう取り組んでいきます。

4 デイ・ホーム千歳

(指定通所介護 定員:42名 認知症対応型通所介護 定員:12名)

重点目標①

コロナ禍で不安定になってしまった事業運営を正常な状態に戻します。

稼働率目標 年間稼働率 71%(平均利用者数 38.4人)

具体的展開

上半期 72.2%(平均利用者数 39人) 下半期 70.9%(平均利用者数 38.3人)

- ・アンケートなどを参考にし魅力ある活動を行い、ご利用者の満足度を高めます。
- ・受診等で休まれるご利用者に振替利用を提案。柔軟に対応し稼働に向上に繋がります。

重点目標②

新規利用者の獲得

契約者数目標 年間契約者数 60人(月平均契約者数 5人)を目指します。

具体的展開

居宅介護支援事業所や地域へ向けて広報活動を強化します。

- ・利用者に向けての月刊新聞やパンフレット、居宅介護支援事業所に向けての年4回の季刊誌の発行を行い、デイサービスの活動を理解していただけるよう努めます。
- ・SNS(ブログ等)を活用し、日々の活動を定期的に発信します。
- ・活動の記録を写真等で家族やケアマネジャーに伝え、安心して通っていただける環境を作ります。

重点目標③

アメーバ経営を意識して行ない、自立心の高い職員を育成し、在宅サービス課としての人材の層を厚くします。

具体的展開

- ・職員を4つの班に分け小さな組織に細分化し、一人ひとりの役割や責任を明確にします。
- ・給田ヘルパーステーションの稼働に加わり、個々の経験値を上げ介護職としての幅を広げ情報の共有を目指します。

5 給田ヘルパーステーション(訪問介護事業所)

重点目標①

1ヶ月あたりの収入目標を3,800,000円とし、売上高の安定を図ります。

具体的展開

緊急性のあるサービスや臨時サービスにも柔軟に対応し、収入の安定を図ります。業務改善を図り無駄な残業を失くす等、経費削減に努めます。また、デイサービス職員との人事交流を継続し、最大収入・最小経費を目指します。

重点目標②

年間契約者数50人(月平均4人)を目指します。

具体的展開

地域の居宅介護支援事業所に対し、空き状況のお知らせ等の情報を提供し、新規獲得を目指します。サービス実施状況や、モニタリングの結果を担当ケアマネジャーに報告し、共有する事で、安心してサービスを依頼して頂ける事業所を目指します。

重点目標③

質の高いサービス提供を行います。

具体的展開

職員・登録ヘルパーの誰が訪問しても、同等の質の高いサービスが提供出来る様、個人に合わせた研修を実施し、スキルアップを図ります。職員・登録ヘルパー間の認識を統一するため、ケア会議を実施し情報共有を行っていきます。

6 給田介護保険サービス(居宅介護支援事業所)

重点目標①

介護支援専門員一人当たり、稼働 35 件、特定事業所加算Ⅱ取得継続します。

具体的展開

医療ニーズの高いご利用者、近親者や親しい協力者のいないケース、早急な支援を必要とした確な判断力を求められるケース等の支援を行う事が増えています。多様なニーズに応えるため、職員個々のスキルアップを目指し、ご利用者やご家族の心に寄り添った介護計画の作成と支援を行います。

重点目標②

事業所内の連携を強化します。

具体的展開

ミーティングでは、ご利用者、ご家族の情報共有や支援経過の報告だけでなく、日常的に状況について確認を行う事で、より事業所一体となった支援作りに努めます。

また、日々変化する介護保険や各種制度における最新の情報についても、事業所内で共有し理解を深めることで、わかり易くご利用者やご家族へ説明できるよう努めます。

重点目標③

介護支援専門員に求められる専門性を強化します。

具体的展開

重点目標①と②を踏まえ、介護支援専門員としてのスキルアップを目指し、これまでの研修参加の立案過程を見直し、より個々の職員にとって必要な専門性に特化した研修への参加を行います。また、研修で得た情報について事業所内で共有し、且つその後の支援においてどのように活かしているかを確認することで、見える形での成果に努めていきます。

7 烏山あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

重点目標①

地域と共に育ち、地域の方から信頼される事業所を目指します。

具体的展開

- ・サロン・高齢者クラブ・自主グループなど地域の組織を訪問し、活動内容を把握するとともに、地域に住む高齢者をつなぎます。
- ・広報紙配布を通じ、集合住宅の集会や自治会に参加し、あんしんすこやかセンターや介護予防・認知症予防についての普及啓発を行います。

重点目標②

総合相談の対応力を向上します。

具体的展開

- ・ミーティングの場の活用:対人援助の基本視点に重点を置き、事例検討を行います。
- ・複数での対応:複数の職員で訪問対応などを行い、実践の場で他の職員の対応を見て相談し合うことで対応力の向上を目指します。
- ・簡潔な報告の習慣:申し送りの共有文書に簡潔かつもれなく記載する習慣をつけることで、文章化して相手に伝える力をつけます。
- ・ステップアップの見える化:自己点検シートを3ヶ月ごとにチェックし、他の職員と相互評価、確認を行います。
- ・振り返り:複数対応した場合やミーティングだけでなく、できるだけ振り返りを行います。

重点目標③

介護予防ケアマネジメントの質を向上します。

具体的展開

- ・ご本人の強みを活かす介護予防ケアマネジメントを実践するため、適切な事例を選定し、地域ケア会議を開催します。開催後は助言の内容や支援方針等を踏まえ、取り組みを振り返り、ご本人の状態や状況を確認するモニタリングを行います。所内でも経過やモニタリング結果を共有します。
- ・介護予防のための自己管理能力向上・定着を図る支援として、適切な参加者を選定し介護予防筋力アップ教室につなげます。

第3部
池袋敬心苑
(東京都豊島区南池袋)

目次

		頁
1	はじめに ……	16
2	職員配置 ……	17
3	特別養護老人ホーム池袋敬心苑 ……	18
4	デイホーム南池袋 ……	20
5	ふくろうの杜介護保険サービス ……	21
6	ふくろうの杜高齢者総合相談センター ……	22
7	障害者支援施設 雑司谷 ……	23

1 はじめに

池袋敬心苑は設立 18 年目となる令和 4 年度を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の流行に翻弄され続けながら、職員一丸となって歯を食いしばり、堪え乗り越えた令和 3 年度を経て、この令和 4 年度は「前進」をスローガンに掲げ、文字通り施設全体を前へ推し進めることに全力を挙げて取り組む年度にしたいと考えております。

これまでの経緯に於いて、施設全体としての「新型コロナウイルス感染症罹患防止対策」、罹患者が発生した場合の「事業継続計画(BCP)」および「感染症罹患発生時の対応マニュアル」が確立され、それぞれ適切に運用されたことは、この令和 4 年度を新型コロナウイルス感染症と対峙しつつも「前進」し続けられる職員のマインド醸成と環境形成に至った証であると確信しております。

その土壌を基盤に、この「コロナ禍」で犠牲にせざるを得なかったご利用者に提供するサービスの質と量の回復と、職員に強いざるを得なかった身体的、精神的負担の軽減を図りつつ、この「コロナ禍」であっても継続可能な、また、実現可能な「新たなあるべきカタチ」を創生し、SDCA サイクルをもって標準化に取り組んで参ります。

また、コロナ禍に脅かされることのない安定的な経営基盤を確立するためにも、在宅サービスに於ける新規事業の開設を目的として先般発足した、「BIG OWL プロジェクト」を中心に、池袋敬心苑近隣に小規模であっても居宅介護支援事業所や訪問介護事業所等のブランチ形成をすることで、経営的側面のリスクヘッジを目指して参ります。

以上について池袋敬心苑の総力を挙げ、その「具現化」に取り組む令和 4 年度としたいと考えております。

私自身、令和 3 年度も様々な学びを得ました。その学びを令和 4 年度に活かし、それを体現することに率先垂範して取り組んで参ります。

令和 4 年 4 月
池袋敬心苑 施設長 齋藤 隆弘

2 職員配置

(令和4年4月1日現在)

職制区分		特養	通所	身障入所	身障通所	居宅介護	地域包括	合計
常勤職員	施設長						1	1
	副施設長			1				1
	事務職			1			1	2
	介護支援専門員	1				4	3	8
	生活相談員	2	2				4	8
	支援相談員			1				1
	看護職員	3	1		1		1	6
	介護職員	31	7	7	1			46
	理学(作業)療法士							0
	機能訓練指導員	1	1					2
	管理栄養士	1		1				2
	計	39	11	11	2	4	10	77
非常勤職員	医師	4		1				5
	看護職員	2		1				3
	理学(作業)療法士	1		1				2
	マッサージ師		1					1
	介護支援専門員							0
	相談員							0
	介護職員	6	4	1				11
	運転手兼介護職		8		1			9
	洗濯係等	9						9
	音楽療法士	1						1
	障害者雇用	2						2
計	25	13	4	1	0	0	43	

3 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員:82名 併設型短期入所生活介護 定員:10名)

(1) 特別養護老人ホーム

重点目標①

新型コロナウイルス感染症の流行等情勢に左右されず、ご利用者の生活の「快」や「潤い」を担保が可能となる新しいサービス提供様式を確立し標準化します。

具体的展開

- (1) 新型コロナウイルス感染症の動向によってサービスの質、量を低下させることのない継続的に提供可能なサービスを複数創出します。
- (2) ご利用者のニーズを最大限尊重することに立ち返り、居室担当職員が中心となってニーズの抽出とその実現に取り組みます。
- (3) ご家族とご利用者及び職員のコミュニケーションツールとして対面式面会やオンライン面会だけでなく新たな手段の創出に取り組みます。

重点目標②

「池袋敬心苑で良かった」と思える看取りケアを確立し標準化します。

具体的展開

- (1) これまで「看取りケアを考える会」の委員会活動を通じて蓄積してきた「看取りケア」のあり方を実現にうつします。
- (2) ご家族やご利用者が望む人生の最期を実現するための仕組みとして、ご家族やご利用者及び職員も含め「お看取り」についての希望、期待、思考を広く吸い上げることが可能となる説明会、勉強会等を実施します。
- (3) 「池袋敬心苑で良かった」と思える看取りケアの実現を大前提に、令和4年4月1日より看取り介護加算の算定を開始します。

重点目標③

職員一人ひとりがより意欲ややりがいを感じ自己実現が可能となる仕組みを増強します。

具体的展開

- (1) 令和3年度の全体広報委員会で編纂した「職員資源台帳」を活用し、職員一人ひとりのダイバーシティを施設の有用な資源としてご利用者に対するサービスや施設の機能に反映します。
- (2) これまで委員会等に移譲してきた職員の裁量権を、居室担当職員までその範疇を広げ、より職員の満足度を高めることでご利用者の満足度向上に繋がります。
- (3) 職員の育成、向上について外部機関への依存度を低減するため内部の研修だけでなく勉強会等の新たな仕組みを創出します。これについては集合開催だけでなく書面の活用や、ICTの活用により継続的に実施できる環境構築に取り組みます。

(2) 併設型短期入所生活介護

重点目標①

ご利用者やご家族、ケアマネジャーに「また池袋敬心苑を利用したい！」と思って頂けるサービスの提供を目指します。

具体的展開

- (1) 令和3年度に準備に取り組んだ既存のサービスの強化や池袋敬心苑独自のおもてなしサービスを実行します。
- (2) よりご利用者、ご家族のご希望に寄り添うサービス提供を可能とするため、ショート担当委員会だけでなくその担当に特化が可能となるフロア職員を配置します。
- (3) 継続的に池袋敬心苑のショートステイサービスの特徴や「強み」を広く地域に認知してもらうため、当該パンフレットや広報誌を常に最新の状態に保ちつつ最大限活用します。

重点目標②

ショートステイサービスを必要とされる多くの方に対応できる体制を整え、多様なニーズに応えられるサービスの創造を目指します。

具体的展開

- (1) 医療的な支援が必要な方やお看取り対応の希望など、可能な限りお受け入れを実現するために多職種が協働し個々のケースに合わせて都度検討します。
- (2) 複合型施設の利点を活かし、在宅サービスから入所に至るまでの一連についてご利用やご家族が一体感を感じ安心してサービスを受けることができる施設づくりに働きかけます。

重点目標③

ご自宅での生活の延長線上にあるサービスとして、ご利用者の意向や要望を尊重した「カスタマイズされたケア」の実現を目指します。

具体的展開

- (1) ショートステイサービスはご自宅での生活継続を目的としたサービスであることを再認識し、生活環境面においてもご自宅での環境との乖離が最小限となるようハード面、ソフト面の整備に取り組みます。
- (2) 担当生活相談員、ショート担当委員会、居室担当職員及び関係職種が一つになり、主体的にかつ責任を持って継続的にショートステイサービスのあり方について考え、実現に向かうことのできる仕組みを確立します。
- (3) ご家族にとってのレスパイトが十分なものとなるよう、ご家族に対する新たなサービスの創出に取り組みます。

4 デイホーム南池袋

(指定通所介護 定員:35名 認知症対応型通所介護 定員:12名)

重点目標①

ご利用者が活動や参加意欲を高められるように、各プログラム内容の整備・創出をしていきます。

具体的展開

- (1) 認知症対応型通所介護における、活動プログラムと環境設定の見直しを行います。
- (2) 集団・小集団・個別機能訓練のプログラム検討と、実施体制の再構築を行います。
- (3) 集団レクリエーションや趣味活動等の拡充・「歩こうプロジェクト」企画立案をしていきます。

重点目標②

職員が働きやすく、お互いに思いやり、協力し合える職場風土の醸成と、業務改革を行います。

具体的展開

- (1) 各職員の頑張りが他の職員から評価される仕組み作りをしていきます。
- (2) 介護ソフトの導入に伴い、データ管理の一元化を目指します。
- (3) 情報の共有と発信について、より活性化出来る体制作りをしていきます。

重点目標③

近隣住民や学生等の受け入れを積極的に行い、地域や外部との交流を活性化させることで、これまで以上に開かれた事業所作りをしていきます。

具体的展開

- (1) ボランティアの受け入れを積極的に行い、ご利用者が様々な人と関われる機会を作ります。
- (2) 地域住民にとって活動や交流・社会参加の機会の場となることで、多様な関わりを生み出していきます。
- (3) 実習生の受け入れや近隣の学生に来てもらうことで、体験や学習の機会を作るだけでなく、世代間交流が出来るようにしていきます。

5 ふくろうの杜介護保険サービス(居宅介護支援事業所)

重点目標①

ご利用者が望む生活を実現する為、ケアマネジメント力の向上を目指します。

具体的展開

- (1) アセスメントを通じニーズの的確な把握と円滑なサービス調整、相談対応を実施します。
- (2) 資質を高める為、研修計画を作成し研修等に積極的に参加し、事業所内での共通理解とする為の伝達報告を実施します。
- (3) 情報共有・質の向上、スキルの向上、ICT等を活用した事務作業の改善等の業務改善を実施します。

重点目標②

介護保険制度の趣旨に従い、地域で信頼される事業所を目指します。

具体的展開

- (1) 併設の地域包括支援センターとの連携を強化し、地域ケア会議等に積極的に参加していきます。
- (2) 他の事業所と勉強会等を行い、知識の研鑽や情報共有、ふくろうの杜圏域の連携の強化、地域の社会資源との連携・協働等を実施します。
- (3) 介護保険制度改正にしっかりと対応し、ご利用者及びご家族から選ばれる事業所となります。

重点目標③

地域の社会資源としての役割強化を目指します。

具体的展開

- (1) 他部署との連携を強化し、サービスの質の向上に取り組みます。
- (2) 苑としての一体感を持ち、ご利用者、ご家族により信頼されるように取り組みます。
- (3) より地域に貢献できる事業所を目指し、地域での役割を創造します。

6 ふくろうの杜高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)

重点目標①

積極的なアウトリーチによる相談対応などを行い、地域での包括ならびに法人の認知度信頼度の向上を目指します。

具体的展開

- (1) 区民ひろば 3 か所での出張相談会を行います。
- (2) 令和 3 年度実施の呼びかけ事業・実態調査で抽出された対象者へのアプローチを行います。
- (3) 池袋敬心苑地域公益事業へ協力し参加します。

重点目標②

地域共生社会の実現のために地域住民、地域の関係機関とのさらなる連携を目指します。

具体的展開

- (1) 第 2 層コーディネーター、CSW、介護予防センター等との協働をすすめます。
- (2) 多職種連携会を通して、防災やコロナ禍での事業の継続の課題の検討や、総合事業の理解を深めます
- (3) 民生児童委員協議会や警察・消防・関係機関と連携し、救急医療情報キットの配布をすすめます。

重点目標③

内・外の研修に積極的に参加し、また課内で適切に共有することで相談業務や包括支援センター業務の質の確保を目指します。

具体的展開

- (1) 国、都、区、関係団体の主催する研修に各自の目標設定に沿って適切に参加します。
- (2) 研修内容は毎週実施している包括ミーティングで共有します。
- (3) 苑の他課に研修を依頼したり(障害等)、包括も苑内研修を企画し、様々な部署の強みを生かす活動を行います。

7 障害者支援施設 雑司谷

(施設入所支援・生活介護 定員 10 名 併設障害福祉サービス事業 定員:1 名)
(地域活動支援センター 定員:10 名)

(1) 施設入所支援施設・生活介護・併設障害福祉サービス事業

重点目標①

サービスそれぞれの趣旨に立ち返った上で、相乗効果(シナジー)を生むことを目指します。

具体的展開

- (1) 日中活動サービス「生活介護」では、ご利用者の意思決定を尊重しながら、願いや想いを個別支援計画に位置付け、「自分の手で夢を叶える日中活動」を一緒に作り上げて参ります。
- (2) 居住支援サービス「施設入所支援」については、引き続き重度化・高齢化へ適切に対応するとともに職員の心身の健康を維持すべく、現状を踏まえたアセスメント、知識・技術の研鑽、福祉機器の導入、メンタルヘルスケアを行い、適切に支援へ反映させていきます。
- (3) 短期入所サービスについては、レスパイトにとどまらない「行くのが楽しみになるサービス」を目指し、ご要望の受け止めと支援計画への反映を積極的に行います。

重点目標②

多職種連携をこれまで以上に強化します。

具体的展開

- (1) 定例のケース会議に加え、事例検討会の開催によりさらに支援力を高め、利用者理解を深めるとともに、他の職種の視点を活かしかうチーム作りを行います。
- (2) 支援計画書を通じた連携を意識し、特定の職種のみで完結しない援助策定を行います。
- (3) 職種に垣根を作らないよう、職種に関わらず行える業務を積極的に分担します。

重点目標③

地域との連携協働を維持していきます。

具体的展開

- (1) 地域行事への参加や施設機能の貸し出し、ボランティア活用を検討、私たちの存在を知ってもらえるよう努めます。
- (2) 他事業所の見学や交流の機会をつくり学びの場とするとともに、地域課題を発見、解決に向け協力できる機会とします。
- (3) ご利用者・ご家族間のつながりを積極的に支援、施設からの情報発信、面会対応の継続に加え写真や手紙などの送付、電話の取次ぎ等の橋渡しを行います。

(2) 地域活動支援センター

重点目標①

それぞれの希望に沿った日中活動の充実を図り、自己実現の喜びを提供します。

具体的展開

- (1) ご利用者との面談を行う機会を設け、やりたいことの聞き取りを行うとともに活動内容に反映する努力をします。またこの面談を活かし、ご利用者理解を深めていきます。
- (2) 今後の社会参加のあり方を考えられるような勉強会を担当委員会よりプログラム内で催し、知りたい情報が得られるような支援を行います。

重点目標②

医療的ケアの受入を地域課題ととらえ、他事業所と連携してこれに対処していきます。

具体的展開

- (1) 実際のご利用に際しては、看護職員はもちろんのこと、他の職員への細かい情報共有を図り、緊密に連携が図れるよう体制を構築していきます。
- (2) 区立施設や特別支援学校など他機関との連携の機会を設け、地域課題の積極的把握とともに、継続的に連携しながら取り組みができるような土壌を作っていきます。
- (3) 進路実習の受入や問い合わせへの対応、説明会への参加や情報提供など、「医療的ケアが必要になっても通える場所がある」ことを知ってもらう取り組みを進めていきます。

重点目標③

ご利用者と地域との積極的な橋渡しを行い、社会参加の拡大に努めます。

具体的展開

- (1) 区の作品展へ出品するものを活動の中で作って頂くなど、地域行事への参加ができるような機会をお作りします。
- (2) 福祉的就労など次のステップに進みたい希望が聞かれた場合は、共に考え情報提供を行いながら他事業所につなぐなどのバックアップに努めます。

第4部
浦安市障がい者福祉センターきらりあ
(千葉県浦安市)

目次

	頁
1 はじめに ……	25
2 職員配置 ……	26
3 就労継続支援B型事業 ……	27
4 生活介護事業 ……	28
5 相談支援事業 ……	29

1 はじめに

令和4年度は新たな指定管理期間5年のうち2年目となります。昨年度は計画をしていた宿泊体験事業など新たな事業を始め、以前から開催をしていたお祭りやコンサート、旅行などのイベントも新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされたり、実施内容や方法を変えたりせざるを得ませんでした。今年度も新型コロナウイルスの影響がどのようになるか予測のつかない様相ですが、以下の事柄に重点を置き、状況に合わせてながら運営をしてまいります。

第一にコロナ禍にあっても安全で安心してサービスを利用してもらえる環境、体制を整えます。環境・体制整備は単なる過剰な活動制限とならないよう、ご利用者の成長のための経験や楽しみの機会を持てるような工夫をいたします。

第二に虐待防止・権利擁護に関する取り組みの見直しを行います。今年度から虐待防止に関わる研修や対策委員会設置、責任者設置が義務化されるなど虐待防止対策の推進が強く求められています。当センターでは既に上記対応はしており、委員会の活動を通して虐待防止や意思決定支援などの研修や行動振り返りチェックなども行っていますが、この機会に改めて見直しをしていきます。

第三に新しい人材育成の工夫を試みていきます。コロナ禍の2年間で施設内外の研修や情報共有の在り方は大きく変わり、フォーマル、インフォーマルな職員間でのコミュニケーションの量が減少しています。加えて、定例の行事も2年以上の中止期間があり、通常の活動方法も変化するなかで、様々なノウハウをこれまで通りの方法で引き継ぐことが難しくなりつつあります。そこで、施設全体で支援の質の向上が図れるように時代に即した人材育成が図れる仕組みづくりに工夫をしていきます。

最後に、多くのご利用者が当センター以外の様々な地域の福祉事業所(サービス)を利用して生活していることが、このコロナ禍においてより実感させられます。今後も地域における連携協力に取り組みながら、ご利用者のみなさまが望まれる生活を送れるよう支援に努めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年4月
浦安市障がい者福祉センター センター長 肥田 淳

2 職員配置

(令和4年4月1日現在)

職制区分		就労継続支援B型	生活介護	特定相談支援	合計
常 勤 職 員	管 理 者	1			1
	サービス管理責任者	1	1		2
	職 業 指 導 員	9			9
	生 活 支 援 員	3	25		28
	相 談 支 援 専 門 員			5	5
	看 護 師	2			2
	管 理 栄 養 士	1			1
	事 務 員	3			3
	計				51
非 常 勤 職 員	生 活 支 援 員	1	2		3
	医 師	2			2
	理 学 療 法 士	1			1
	ド ラ イ バ ー	2			2
	栄 養 士 補 助	1			1
	作 業 補 助 員	2			2
	計				11

3 就労継続支援B型事業

働くことを通じて、金銭や作業技術のみでなく社会生活技能を身に付け、また社会の一員としての誇りと尊厳をもつことができるような支援を目指します。そのために、作業をはじめとする活動環境を整えるとともに、ご利用者一人ひとりに合った目標の設定と支援を心がけていきます。

重点方針①

ご利用者が働きがいを持ち、より主体的に働ける職場を目指します。

具体的展開

- (1) 作業状況、受注商品の使われ方などの情報や定期的な作業収入額をご利用者に伝えることで、仕事へのモチベーションが維持できるように支援します。
- (2) 出来ていることや取り組む姿勢に対する丁寧な称賛を続けることで、ご利用者の自信や意欲の向上に繋がります。
- (3) ご利用者それぞれの得意な作業分野を専門的に任せることで、技術が高められるように支援します。
- (4) 本人会などを通して、ご利用者の意見や考えが反映される環境づくりに努めます。

重点方針②

工賃の維持・向上を目指します。

具体的展開

- (1) 正確な検品や商品開発により顧客に信頼していただけるように努めます。
- (2) 新たな取引先の開拓に努めるとともに、製菓作業では安心してご購入いただける販売方法を工夫します。
- (3) 原材料費等における経費削減に努めます。
- (4) 目標平均工賃:月額 17,000 円+賞与 4ヵ月

重点方針③

安心・安全な生活環境の維持に努めます。

具体的展開

- (1) 毎日の健康観察や衛生管理による感染症対策に努めます。
- (2) 心身ともに健康で安定した日々を過ごすために、社会生活におけるルールやマナーについて再確認する場を設けます。

4 生活介護事業

身辺自立・コミュニケーション・健康などの生活技能向上を目的とした自立活動、評価承認を得られる場としての生産・創作活動を通して、それぞれの自己実現に向けた支援を目指します。そのための環境を整えるとともに、ご利用者一人ひとりにあった目標設定と支援を心がけていきます。

重点方針①

ご利用者の意欲を引き出します。

具体的展開

- (1)ご利用者の力を発揮する環境、好きなことや得意なことができる活動を提供します。
- (2)ご利用者が理解しやすいよう活動内容を伝え、ご本人の意思を確認する場や気持ちを盛り立てる環境を作ります。
- (3)eーランニングや外部研修の受講など、支援員各々が知識や技術を深めます。

重点方針②

ご利用者の体力維持を図ります。

具体的展開

- (1)ご利用者それぞれに合わせた運動や機能訓練、ストレッチを実施します。
- (2)ご利用者が積極的に体を動かせるよう、活動内容を工夫します。
- (3)地域資源を活用しながら、屋内外で運動する機会を継続して提供します。

重点方針③

ご利用者が安心できる生活を提供します。

具体的展開

- (1)健康状態を含めたご利用者の様子観察をきめ細かく実施し、状況に応じた活動調整やご家族や関係機関との情報共有を行います。
- (2)季節行事やイベントは、安全と安心の中でご利用者が楽しめるよう企画します。
- (3)感染症対策を講じた生活環境を設定します。

5 相談支援事業

ご本人・ご家族・支援者が抱える課題の解決や、ご本人の安心と安全が守られた生活を支えるための相談窓口となり、福祉・医療・介護・就労等関係機関と連携を図りながら「本人主体の生活」の実現を支援していきます。

重点方針①

権利擁護の意識と幅広い視点を持ちながら、ご本人の生活に伴走していきます。

具体的展開

- (1) ご利用者の権利が守られているかという視点を持ちながら聞き取りを行います。
- (2) 相談員の見方だけでなく、様々な立場の支援者の意見を聞きながら、課題の見極めと必要な支援を考えます。
- (3) 課題を抱えながらも支援ニーズを発信できない方に対して、地域の関係機関からの発信を受け、相談機関として継続した関わりを持ち支援していきます。

重点方針②

本人主体の計画であることをより明確に発信していきます。

具体的展開

- (1) 計画作成につながるアセスメントを丁寧にとります。
- (2) 主たる聴き取りが家族や支援者であっても「本人ならどう考えるか」を計画に反映させ、支援者にも会議で周知していきます。
- (2) 計画の質向上のための研修会や勉強会に参加し、事業所内で共有します。

重点方針③

実際のニーズと取り組みについて情報収集を続け、ご利用者の希望に沿ったコーディネートを中心に心がけます。

具体的展開

- (1) 先行している事業所からの情報収集と、必要に応じた協働を行います。
- (2) ピアサポートに取り組んでいる事業所の見学など行い、一人ひとりに合った場につないでいきます。

第5部
敬心ゆめ保育園
(千葉県船橋市)

目 次

		頁
1	はじめに	… 30
2	職員配置	… 31
3	保育事業	… 32
4	特別保育事業	… 33

1 はじめに

令和4年度4月開園9年目を迎える敬心ゆめ保育園は、新入園児26名を迎え、定員園児数110名を大幅に超える138名の在籍で新年度をスタートします。

コロナ禍に翻弄され早2年超、抜け出せそうで抜け出せない長いトンネルは、どこまで続いていくのか、不安の中で苛立ちすら感じる今日。その渦中であっても日々成長を続ける子ども達のために、制限に捕らわれずより良い環境の中で保育するために、私たち職員が気持ちを切り替え、手を替え品を替え懸命に子ども達と向き合うために全力を尽くします。

愛着関係を形成する上で密着を避けることが難しい乳児保育では、感染症のリスクが高く職員への感染リスクも避けられませんが、どのような状況下でも大切にすべきことは揺るぎない気持ちで対応し育みを支援していきたいと思えます。

また幼児保育では「コロナ禍に負けない保育」「経験値を高められる保育内容」に着目し、導くための玩具や道具等の環境を整え実践へと繋られるように取り組みます。

保育新時代と言われ、保育を取り巻く環境が大きく変化している昨今。厚生労働省は令和7年(2025年)には児童数が頭打ちになると見込まれております。選ばれる園づくり・地域になくてはならない園づくりが求められ、今までのように「あったらありがたい保育園」ではなく、「なくてはならない保育園」を目指していく必要があると考えます。その為、理念・計画・人・環境におけるマネジメントの意識改革として、職員自らが目標を持ち能力や質の向上に取り組むことを今まで以上に深く掘り下げ園運営に活かせるようにしたいと思います。

今後もコロナ禍の情勢に合わせた十分な感染防止対策を講じ、園児・保護者・職員にも安全安心な環境づくりを怠らずに実施してまいります。

翌年迎える開園10年を前に、外壁塗装を済ませ綺麗になった園舎に、負けない魅力ある施設運営を目差していく所存です。

最後になりましたが、地域の方々、園児保護者、関係各所の皆様には、今後も変わらず温かく見守っていただけたら幸いです。

令和4年4月
敬心ゆめ保育園 園長 佐藤宏美

2 職員配置

(令和4年4月1日現在)

職制区分		0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計	
常 勤 職 員	園長	1						1	
	副園長	1						1	
	副主任保育士	1			1			2	
	保育士	6	5	4	2	2	1	20	
	支援担当		1	1			1	3	
	フリー保育士	1			1			2	
	看護師	1	1						2
	栄養士	3						2	
	調理師	0						0	
	事務員	1						1	
	計							34	
非 常 勤 職 員	みなし保育士			1				1	
	時間外保育士	1		1	1			3	
	栄養士	1						1	
	調理員	1						1	
	時間外保育補助	1		1				2	
	用務員	1						1	
	嘱託医	2(小児科医・歯科医)						2	
	計							11	

3 保育事業

重点目標①

指針を遵守しながら、子どもの最善の利益のために保育の充実を図ります。

具体的展開

- (1) 乳児は育児分担担当制保育の中で、大人に見守られながら愛着関係を築き、安心して過ごせるように配慮します。
- (2) 幼児は常に保育の5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を意識した保育計画の中で、子ども自身が主体的に取り組める活動や経験を通して、心と身体の健やかな育ちを支えます。
- (3) 最終年度の園児が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を具体的に示した保育内容の計画を基に、こどもの生きる力の育みについて園全体で取り組みます。

重点目標②

職員一人ひとりの専門性と保育の質の向上と保育新時代を意識した取り組みの構築。

具体的展開

- (1) オンライン研修の日常化と、日々の自己評価の在り方を見直し、良い保育実践のための保育のPDCAサイクルの定着を図ります。
- (2) コロナ禍で希薄になりつつある保護者対応や、職員間の連携などICTシステムの充実した活用方法の定着と、更なる効率化を目的とした会議や保護者会など、利用シーンに合わせたより適切なWeb環境の構築を目指します。
- (3) 選ばれる園づくりのためのマネジメント、リーダーシップの在り方・組織文化の見直しとオープン的な共有方法の構築を目指します。

重点目標③

健全な職場環境とコロナに負けないリスク管理

具体的展開

- (1) 長期に渡るコロナ禍でのストレスから、園児と職員を守るためにより良い環境の構築。
- (2) ワークバランスを意識し、職員が保育に集中でき、あるべき保育が実現されるための職場の環境づくりに努めます。

4 特別保育事業

重点目標①

延長保育事業におけるコロナ禍での長時間保育の在り方

具体的展開

- (1) コロナ禍での働き方が変化する中、在宅勤務が増え延長保育利用が激減している現状は、子ども達にとって家庭での時間が多くなり心の安定に繋がるが、利用減＝収入減についての対策を検討していきます。

重点目標②

病児保育事業体調不良児対応型保育の安心安全な取り組み

具体的展開

- (1) コロナ禍での利用を中止している中でも、対応が必要な場合の感染対策、安心して休めるスペースの保障が出来るよう対策を進めてまいります。
- (2) ヒヤリハットにあたる怪我の未然防止対策として、事故発生防止委員会の開催の徹底と振り返りの徹底を図ります。また、検証のためのビデオの設置の検討を進めます。
- (3) 園児保護者相談支援・地域子育て世帯に対する、相談窓口をコロナ終息後にスタート。

重点目標③

地域活動推進事業の活性化。

具体的展開

- (1) 異世代間交流・地域交流の実施に向けた課題抽出。
- (2) 幼保小の連携はコロナ禍の為すべてが中止となる。オンラインや端末を使う方法の模索と情報共有を図ります。

社会福祉法人 敬心福祉会

～ 事業所一覧 ～

【〒157-0064 東京都世田谷区給田5-9-5】

- 法人本部事務局 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑 TEL 03-3307-1165 FAX 03-3307-1140
- デイ・ホーム千歳 TEL 03-3307-2282 FAX 03-3307-1140
- 給田介護保険サービス TEL 03-3307-2598 FAX 03-3307-1140
- 給田ヘルパーステーション TEL 03-3307-2424 FAX 03-3307-1140

【〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-2-19 烏山区民センター2階】

- 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）
TEL 03-3307-1198 FAX 03-3300-6885

【〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-7-8 オリナスふくろうの杜】

- 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- デイホーム南池袋 TEL 03-5958-1206 FAX 03-5958-1209
- 障害者支援施設 雑司谷 TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- 雑司谷デイサポートセンター TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- ふくろうの杜介護保険サービス TEL 03-5958-1207 FAX 03-5958-1195
- ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）
TEL 03-5958-1208 FAX 03-5958-1195

【〒279-0042 千葉県浦安市東野1-8-2】

- 浦安市障がい者福祉センターきらりあ（就労継続支援B型事業・生活介護事業）
TEL 047-350-8770 FAX 047-350-8766
- きらりあ相談室（相談支援事業） TEL 047-350-8765 FAX 047-350-8775

【〒273-0002 千葉県船橋市東船橋3-15-8】

- 敬心ゆめ保育園 TEL 047-411-5725 FAX 047-424-7373